Dialogical Expertise Intensive Workshop

ダイアローグの哲学と実践のためのエキスパート・スキルを学ぶ集中研修会

Becoming Dialogical via Deliberate Practice

2025 年 7 月 12 ~ 13 日　対面･ライブ方式

オープンダイアローグやアンティシペーションダイアローグ、そしてアーリーダイアローグなどのダイアローグ実践の哲学と臨床姿勢を基盤として、Deliberate Practice の方法論を用いた Dialogical Expertise （ダイアローグのエキスパート・スキル）のトレーニングによって、ダイアローグ実践のパフォーマンス向上を目指した、体験と実習（練習）ベースの集中研修会です。

今回は特に Collaborative-Dialogic Practice という視点から、Open（オープンさ）、そして Collaborative （コラボレイティブ、協力、協働）ということの二点に焦点を合わせて、ダイアロジカルなダイアローグ実践？のための基礎、あるいは必須となる臨床姿勢と基本スキルについて捉え直し、学び直し、練習し直す場にしたいと考えています。

そして、フィンランドで行われている、Dialogical Supervision：支援者が自らの業務の在り方、職場の関係性、チームや組織としての課題などについて、ダイアローグを通して振り返り、共に学ぶための（支援者のための）スーパーヴィジョン、についても紹介し、体験していただく機会を提供できればと思います。

また、エキスパート研究で有名な心理学者アンダース・エリクソンによって、超一 流の音楽家やアスリートたちの研究から導き出された、エキスパートを目指ししてのスキルアッ プ・トレーニング方法論である Deliberate Practice について、そしてイギリスの Lucy Johnstone らによって精神科診断に基づく医学モデルへの代替案として提唱され、利用者の声を十分に取り入れ、これまでとは全く異なった視点から心理的苦悩や様々な問題をとらえ直し、新たな、広範な治療や支援の可能性を示す Power Threat Meaning Framework（パワー・脅威・意味のフレームワーク）についても、紹介したいと思います。

オープンダイアローグやアンティペーションなどに多少なりとも知識や経験がある、あるいは実践を考えている方々が対象ですが、ダイアローグ実践の哲学と専門性（エキスパート・スキル）を学び、より効果的な、よりダイアロジカルな支援者・セラピストを目指す方々なら、職種や経験にかかわらず大歓迎です。

ダイアローグ文化の醸成と実践のための研修会

2025
#3

講師：**白木孝二**　　Nagoya Connect & Share　代表
RDI® Program Certified Consultant　臨床心理士
http://www.nagoya-connect.jp/

日時：2025 年 7 月 12 日～13 日（土・日）　対面・ライブ方式　各 10:00 ~ 17:00

会場：Nagoya Connect & Share　　名古屋市東区葵一丁目 4 番 34 号　双榮ビル 3 F 北
地下鉄東山線　新栄町下車　葵町交差点を北へ徒歩 4 分　詳しくは別紙地図を参照

参加対象：医療、福祉、臨床心理、教育、組織開発などの領域で、相談支援活動に携わっている方。ある程度、実践経験をお持ちで自身の臨床能力向上を望まれる方。

定員 12 名：事前申し込みに限ります。

参加費：36,000 円　（1 日のみ参加の場合は 20,000 円）
参加可能の確認連絡をしますので、その後に口座に振り込んでください。
振込先：三菱 UFJ 銀行　覚王山（カクオウザン）支店　普通口座　3603322　白木孝二

申込先　：「必要事項」を記入の上、e-mail にてお申し込み下さい。
E-mail: kshiraki-connect@nifty.com

〔必要記入事項〕

① 氏名（ふりがな）
② 職種、立場（ex. 医療、心理、福祉、教育、組織開発関係 etc.）
③ ダイアローグ実践、ブリーフセラピーなどの知識、経験について
④ E-mail アドレス（ご連絡は主として E-mail にてさせていただきます）
⑤ 連絡先（自宅・職場のどちらか／住所・Tel/Fax 番号、緊急連絡用に携帯番号）
⑥ 領収書が必要か否か（必要な場合は宛名も）
⑦ 研修会に期待すること、特に取り上げて欲しいテーマなど

その他　補足事項

・7 月 12 日の夜には、懇親会を予定しています。参加者同士の交流、情報交換などの機会にできればと思います。参加希望の方は事前にお知らせください。
・2 日間通しての参加が原則ですが、それが難しい方は 1 日参加も可能です。申し込み時にその旨お伝えください。

ダイアローグ文化の醸成と実践のための研修会

2025
#3

講師 略歴

現職　Nagoya Connect & Share 代表。RDI® Program Certified Consultant　臨床心理士
名古屋市児童福祉センターを経て、2007 年より現職へ
1991 年　米国、ウィスコンシン州、ミルウォーキー　Brief Family Therapy Center　の
Residential Training に参加。Steve de Shazer, Insoo Kim Berg から直接指導を受ける。
2005 年　米国、テキサス州、ヒューストンの Connections Center より
RDI® Program Certified Consultant 資格取得
2016 年 ～ Open Dialogue Network Japan (ODNJP) 運営委員

論文・著書（分担執筆）など

「Steve de Shazer の業績と貢献」　*ブリーフサイコセラピー研究 第 14 巻*　2005
「ソリューション - フォーカスト・アプローチ再訪」東豊　編　*こころの科学 176 号*
特別企画　家族療法とブリーフセラピー　2014　日本評論社
「ポスト・ソリューション(Post SFA)における私的な温故知新」
特集・「家族療法」温故知新　*家族療法研究　2014 Vol. 31. No. 3*　金剛出版
「オープンダイアローグの対話実践、そして援助者の在り方について」*精神看護*
2015. 11　医学書院
「開かれた対話―セラピストのあり方」*臨床心理学　第 15 巻 5 号* 2016. 09　金剛出版
「オープンダイアローグと言う会話のつぼ」*ナラティブとケア 第 8 号* 2017. 01 遠見書房
「フィンランドからのもう一つの贈り物：未来語りのダイアローグ」*精神療法 Vol. 43. No. 3*
2017. 06　金剛出版
「未来語りのダイアローグ-もう一つの基本プロセス」*精神科治療学 2018. 33(03)* 星和書店
「オープンダイアローグを心理支援に活かすには」*臨床心理学 19 巻 5 号*　2019. 09　金剛出版
「ダイアローグ実践の哲学と臨床姿勢」　*オープンダイアローグ　実践システムと精神医療*
石原、斎藤 編 2022　東京大学出版会
「ダイアローグ」　*臨床力アップのコツ：ブリーフセラピーの発想*　日本ブリーフサイコセラピ
ー学会編　2022　遠見書房

訳書（共訳）

飲酒問題とその解決　I・バーグ、S・ミラー著　斎藤学　監訳　1995 金剛出版
安全のサインを求めて　A・ターネル、S・エドワーズ著
白木、井上、井上監訳　2004 金剛出版
自閉症革命　M・ハーバート、K・ワイントローブ著　白木孝二監訳 2019 星和書店
精神科診断に代わるアプローチ PTMF　L・ジョンストン、M・ボイル著
石原/白木/辻井/西村/松本 訳　2023　北大路書房
サイコーシスのためのオープンダイアローグ　N・パットマン、B・マーティンデール編
石原孝二編訳　2023　北大路書房

アクセス地図です。

〒461-0004 愛知県名古屋市東区葵１丁目４－３４

名古屋市交通局、地下鉄路線図へのショートカット

https://www.kotsu.city.nagoya.jp/jp/pc/subway/routemap.html